

本物と呼ばれる人は、何を大切にしているのか？

いい男論

永松茂久

いい人生を送りたいと願うすべての人たちへ。

いい男に憧れよ。いい男に出会え。

それが願いを叶える一番の早道だ。

はじめに　なぜあの人は「いい男」と呼ばれるのか？

仕事もバリバリ。容姿端麗。性格も抜群。すべてにおいてそのない女性がふとこう言った。

「いい男が増えてほしいな」

これは一般的にいう、女性にとって都合のいい「優しい男」のことではない。そもそも、そんな男ならいまだき巷に溢れている。

にもかかわらず、女性たちは、いつまでたっても安心できてはいない。

将来に対する不安も消えない。

「いつこのため息がなくなるのだろうか？」と常に心のどこかで思っている。

これは女性たちが、本当の意味で優しい男が少なくなっていることに気づいているという、何よりの証拠なのだ。

だから自分を無理に追い込んで普通の女性以上にがんばりすぎてしまったり、男

性以外の存在で、依存できる何かを探し続けたりする。

「自立してやりたいことをやろう」という女性の近年の風潮の裏にも、こういった、いい男の少なさに対する不安という側面も隠されているのだ。

どんな人でも心の中に「いい男像」を宿している。

それは、ある人にとっては、自分の上司や先輩といった身近なロールモデルかもしれない。

また、ある人にとっては、芸能人やスポーツ選手、歴史上の偉人といった遠い存在かもしれない。

もしくは、「一本筋が通った男」といったように、自分のあり方や美徳を守る男に憧れる人もいるだろう。

いまのところ、人によって、いい男の定義は百人百様かもしれないが、本書を手にとっていただいたということは、少なからずあなた自身が、自分の中にある、モヤモヤとした「いい男像」をもう少し明快にしたい、もしくは確信を持ちたいと思っ

ているはずだ。

あなたが男性ならば、あなた自身が「いい男」になるために。

あなたが女性ならば、「いい男とはどんな男なのか」を知ってもらうために。

そのお手伝いがしたくてこの本を書くとした。

最初にお断わりしておくが、この本では「こうやったら女性にモテる」とか「手っ取り早く外見を変えよう」といったテクニク系の話には、一切触れていない。それはあくまで断片的なものであって、すべての基礎は、その男の心のあり方にあるからだ。

だからといって、これを読んでもモテないというわけではない。

逆にこれを実践すれば、絶対にモテると言いきれる。

あり方の綺麗な男は、男女問わず周りが放っておかないからだ。

ということは広い視野で見ると、ある種この本はモテ本と言えるかもしれない。

ということで、このまま本題に入ってもいいのだが、その前に僕なりに考える「いい男像」についてここで簡単に触れておきたい。その方が読み進む上で腹落ち感が

増すと思う。

悩んだ結果、本書の根幹となる「いい男の条件」は3つの単純明快なものになった。

いい男。それは「我慢ができる男」、「人間の本质を知っている男」、「他を思いやる優しさを持っている男」のことだ。

自分を土台にしても、人の幸せを優先することができる男。

相手の立場を考えることができる男。

自分のあり方や立ち居振る舞いを、自分でコントロールできる男。

夢を実現するために歯を食いしばって努力する男。

大切な人を守るといふ気概を持っている男。

土壇場から逃げない男。

こういったいい男たちの共通要素として、「我慢」「本質」「愛」という3つの言

葉は外せない。

いい男。それは子どものときに憧れた英雄と言い換えることもできるかもしれない。仮面ライダー、ウルトラマン、ゴレンジャー、スーパーマン。もしくは映画の主人公など、男だったら誰しも一度は憧れた理想像。

たとえば女性が、いや、女性だけでなく後輩など、弱い立場にいる人が悩んでいるときに、そこにそびえる壁をぶっ壊して、

「ほら、これで前に進めるよ。また困ったら言っておいで」

と言って黙って去っていく男の背中にしびれない人はいない。

誰が教えたわけでもないのに、幼い頃から男の子はみな、一度はそんな英雄に憧れる。

そして女の子は、いや、年代問わず、世のほとんどの女性もまた、自分を守り、自分を「姫」にしてくれる存在を待っている。これも誰が教えたわけでもないのに、そんな存在に憧れる。

そう考えると、この「いい男」に対する憧れは、僕たち人間が生まれながらに持つ

ている本能とも呼べるものなのかもしれない。

「いい男」とは、つまりはこうした理想像を現実社会で体现している男たちや、道半ばであったとしてもそういった理想を追いかけている男たちのことである。

いい男は少なからずこの現実社会に存在する。

そして男は誰でもいい男になることができる。

その姿をあきらめない男とあきらめた男、その二種類がいるだけだ。

本論を読んでいただく前に、まずあなたに、3つのことをご理解いただきたい。

本書では、いい男の3つの要素をさらに深く掘り下げ、実践しやすいように、できるだけわかりやすく伝えることに集中する。そのため、ときには表現がストーリーになりすぎることもあるかもしれないが、そこはご了承ください。

ふたつめ。本書では、僕が実際に出会ったいい男たちのストーリーを例題に挙げることにする。

遥か彼方の英雄ばかりを挙げてても、現実感が乏しくなってしまう恐れがある。しかし、いい男とはもっとあなたの近くにいるということ、そしてそういう男たちも、

あなたと同じ時代を生き、あなたと同じように、泣き笑いし、その中から何かを掴んで立ち上がってきた存在である、ということを実感していただくことこそが、あなたにとっての輝かしい未来につながると信じているからだ。

そして最後にもうひとつ、この本の49の見出しは、僕が人生の先輩方からいただき、心に響いた部分をメモした言葉をノートから抜き出し、そのまま書き出したものだ。だから見出しというより、メッセージに近い。もし響く言葉があれば、そのままあなたの言葉として、迷っている後輩たちへ送ってほしい。

いい男になることをあきらめかけた、現代の男性たちへ。

いい男との出会いをあきらめかけた、現代の女性たちへ。

さあ、いい男とはなんなのかをともに考えていこう。

第1章 いい男の 器論

はじめに なぜあの人は「いい男」と呼ばれるのか？

- 01 同性に好かれる男は本物だよ。 020
- 02 言い訳ばかりしないで、もつと熱くなってみろよ。
大切な何かを思い出すから。 024
- 03 いい男は共通して、キラッと光る目を持つているもんだよ。
にしても、あいつはいい目をしてんなあ。
ありやあ、必ずでかくなる。 028
- 04 「類は友を呼ぶ」っていう言葉があるけど、
どうやらありや本当だな。 032
- 05 昔の人はよく言ったもんだよ。
あそこで裸踊りやってる人、見てみるよ。
ああやってバカになれる男ってかっこいいよな。 036
- 06 友の成功を心から喜べるか？ 040

第2章 いい男の 優しさ論

07 お祝いも大事かもしれないけど、
それより葬式を大切にしろよ。
044

08 世界最強？そりゃ決まってるだろ。
日本のサラリーマンたちだよ。
050

09 一生懸命ついてきてくれた人間に、
無駄に頭を下げさせるようなことはするなよ。男なら。

054

10 人を喜ばすつてのは、もちろんすごいことだけど、
その前にもっと大切なことがある。
それは人の痛みを知ることだ。
058

11 何で助けるのかって？

そりゃ目の前で困ってる人がいるからだよ。
他に理由が必要か？
062

12 優しい嘘、ついたことあるかい？
066

第3章 いい男の 色気論

- 13 シンプルに考えると、
一番大切なものってやっぱり愛だよな、愛。 070
- 14 おまえの大切な人は笑ってるか？ 074
- 15 大切な人を守りたいなら、まずはおまえが強くなれ。 078
- 16 いい男には独特の色気がある。 088
- 17 いい男には不思議な華がある。 088
- 17 かっこつけるんじゃない。 092
- 17 かっこくくらいつけなくてどうする。 092
- 18 ありのままの自分を見せればいい？ それ本当か？ 096
- 18 強い男を育てるもの？ そりゃ社会の理不尽と矛盾だよ。 100
- 20 いつも集まって愚痴ばかり言っている群れに入るなよ。 104
- 21 それなら一人でいたほうがよっぽどマシだ。 104
- ミラーボールみたいな男になれ。 108

第4章 いい男の あり方論

- 22 部下には部下の、後輩には後輩の
かつこいいあり方つてのがあるんだよ。 114
- 23 少々、損をしても筋を通す。
結局最後はこういう男が必ず勝つ。 118
- 24 おいおい、全部まわりのせいだよ。 122
- 25 自分の立ち位置が見えていない男はダサイ。 126
- 26 男としてのマイルールを持つているか？ 130
- 27 男なら、仲間と誓った秘密基地の場所は絶対にバラすな。 134
- 28 いいか。自分の話ばかりするなよ。
人に華を持たせることを忘れるんじゃないぞ。 138
- 29 借りは早目に返しとけよ。 142
- 30 人間関係は初期設定が9割だよ。 146

第5章

いい男の 夢論

37 夢は未来を変えるためにあるって？

そりゃ違う。今の自分を変えるためにあるんだよ。

152

32 人の夢を笑うな。人に夢を笑わせるな。

156

33 その夢の向こうには何人の笑顔が見えてる？

160

34 手に入れたいものがある？

そうか。じゃあ本当に欲しけりや自分から取りに行けよ。

ボケつと待つてても、向こうからは永遠にこないぞ。

164

35 若いうちからあんまり小さくまとまんなよ。

168

第6章

いい男の 本質論

36 常識つてあくまで大多数が言ってること。

必ずしも、それが全部正しいわけじゃやない。

174

37 素直つて、誰に対しても

「ハイ」ということじゃないんだよ。

178

38 相手の欲しいもの、本当に見えてるかい？

182

第7章 いい男の 覚悟論

39

人間って本質的には変わってないんだろ
うな。聖書や論語が
2000年以上も読まれるはずがない。
186

40

流されて生きるんだ？
それとも自分の意思で生きるんだ？
192

41

信念に逆らった無様な勝ちより、
信念にそった綺麗な負け様。
いつの時代も英雄は後者を選ぶ。
196

42

逃げた自分から逃げさえしなきゃ、
男はかならずでかくなる。
200

43

厳しいことを言うのも、ひとつの大きな愛だよ。
204

44

「波乱万丈かかってこい！」
そう思ったら困難が向こうから逃げていくもんだよ。

45 なめられんじゃねえぞ。笑顔でも腹に力は入れとけよ。 212

46 雨の日は雨の中を。風の日は風の中を。 216

47 「あいつは変わった」と言われることを恐れるなよ。

むしろ褒め言葉と思ってありがたくもらっとけ。 220

48 九州から攻め上がれ。東京で会おう。 224

49 日本を背負う現代の男たちに聞こう。

いま、日本はいい国ですか？ 228

おわりに 目の前の人の笑顔のために 232